

**平成27年度進行管理・評価シート**  
**津和野町歴史的風致維持向上計画（平成25年4月11日認定）**  
「最終変更平成28年3月14日」

**■進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)	.....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	.....	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 藩校養老館保存修理事業	.....	3
2 空き家再生事業	.....	4
3 水路修景・改良事業	.....	5
4 旧城下町等サイン整備事業	.....	6
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の調査、埋蔵文化財の取扱など	.....	7
2 文化財の復旧(保存修理等)、文化財の防災、文化財と調和した 周辺環境・景観の保全・形成	.....	8
3 文化財の保存(活用)を行うための施設の整備	.....	9
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	.....	10

**□総括評価シート【方針の達成状況等】(様式2)**

- ①計画に記載している方針(様式2-1)
- ②その他の項目(波及効果等;任意設定)(様式2-2)

**□総括評価シート【代表的な事業の質の評価】(様式3)**

- ①歴史的風致維持向上施設の整備・管理(様式3-1)
- ②その他(任意)(様式3-2)

<b>■法定協議会等におけるコメントシート(様式4)</b>	.....	11
--------------------------------	-------	----

進捗評価シート

評価軸①-1  
組織体制

		評価対象年度
項目		
<p>○事業推進のための体制整備 ○歴史的風致維持向上協議会の開催</p>		
<p>計画に記載している内容</p>	<p>庁内において、歴史まちづくり推進チームを設置して各課連携して事業を推進する。 歴史的風致維持向上協議会を立ち上げ、計画変更や事業評価等に対応する。</p>	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<p>○歴史まちづくり推進チーム・・・教育委員会、建設課と随時協議を行い「都市再生整備事業計画」「集約促進景観・歴史画」の策定を行った。 ○協議会・・・平成26年度の事業評価及び意見の聴取を実施するとともに、事業都市再生整備事業によるJR津和野駅周辺デザインコンペの審査を実施した。(2回実施)</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<p>■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない</p>	<p>引き続き、関係課、関係者間での連携を保ちながら、実行性のある推進体制を構築する。</p>	
状況を示す写真や資料等		
<p>■歴史まちづくりへの全庁的な取り組み(事業担当の推移)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 30%;"> <p>[計画認定時(H25.4)] 町長部局 津和野暮らし推進課</p> <p>教育委員会 文化財係</p> </div> <div style="font-size: 2em;">➡</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 30%;"> <p>[平成26年度～] 町長部局 商工観光課 建設課 総務財政課 津和野暮らし推進課 農林課</p> <p>教育委員会</p> </div> </div>		
<p>■歴史的風致維持向上協議会の開催</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>&lt;5/26歴史的風致維持向上協議会&gt; ・各事業の現地確認及び評価 ・各事業ごとの事業シートの作成 ・H27年度事業内容についての検討</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> <p>&lt;3/2歴史的風致維持向上協議会&gt; ・JR津和野駅周辺整備デザインコンペ審査</p>		

(様式1-1)

平成27年度

現在の状況

- 実施済
- 実施中
- 未着手

!的風致形成推進計

周辺整備事業におけ

維持する必要がある

寸

評価軸②  
重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
○津和野町景観計画	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 津和野町景観計画に基づき、大規模な景観行為及び屋外広告物設置等に制限を設け良好な景観の形成及び歴史的風致の維持・向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成26年度 法16一届出(当初届出)27件  
法16五通知(公共協議)8件  
津和野町景観計画及び津和野町景観計画に基づき、届出対象行為に対する審査・助言等を行った。

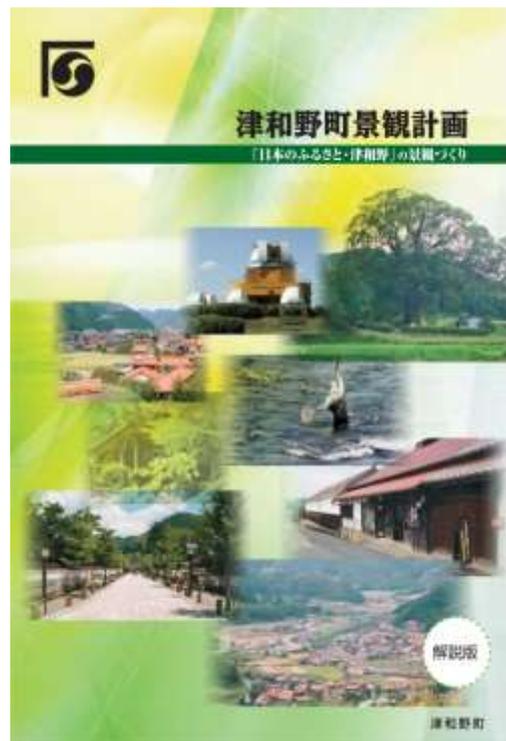
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

町民等関係者に対する周知を継続的に実施する。

状況を示す写真や資料等

■津和野町景観計画



☆住宅の建設、土地の開墾、木や竹の伐採等を行う場合には届出が必要となる場合がありますので、まずは役場へ事前相談を!!

**津和野町景観計画の概要**

津和野町景観計画は景観法第15条に基づき、地域の景観形成に応じて、区域や良好な景観の形成のための方針、建築物の建築等に対する基準を定めたものです。

**津和野町景観計画**

2つの区域

景観計画区域  
(津和野町全域)

景観形成地区  
(町が独自に指定する地区)

**津和野町景観計画の基本理念**

景観的な美観づくりから、自然体で景観し、住民のひとびとと心が考え、みんなで作ります。次世代に受け継いでいく景観づくり、町民の生活の中心、生活に寄り添った景観づくりを掲げていくことを、景観的な取り組みの趣旨・理念とします。

**届出手続きの流れ**

届出申請書、申請料の納付、確認及び協議

審査の結果、確認及び協議

審査の結果、確認及び協議

審査の結果、確認及び協議

審査の結果、確認及び協議

主な届出が必要な行為	景観計画区域 (津和野町全域)	景観形成地区 (町が独自に指定する地区)
建築物(お屋敷)の住宅、店舗、商業施設等)の新築、増築、増設、修繕、外観の変更、景観的変更、又は撤去等	①高さ1.5mを超えるもの又は建築面積が1,000㎡を超えるもの	①高さ1.5mを超えるもの又は建築面積が10㎡を超えるもの又は高さ1.5mを超えるもの又は建築面積が10㎡を超えるもの
工作物(門、柱、塀、塙、倉庫等)の新築、増築、修繕、外観の変更、景観的変更又は撤去等	①高さ1.5mを超えるもの又は高さ1.5mを超えるもの又は高さ1.5mを超えるもの	①高さ1.5mを超えるもの又は高さ1.5mを超えるもの
屋外における土留、塙、土留、土留、その他物件の増設	①高さ1.5mを超えるもの又はその用途に準ずる土地の面積が1,000㎡を超えるもの	①高さ1.5mを超えるもの又はその用途に準ずる土地の面積が1,000㎡を超えるもの
土地の開墾、土留の埋め、建築物の建設その他土地の用途の変更又は本議の趣旨に反する行為	①面積が3,000㎡を超えるもの	①面積が1,000㎡を超えるもの
木や竹の伐採	①高さ1.5mを超える木や竹の伐採又は面積が3,000㎡を超える木や竹の伐採 ②森林保護法等を適用する土地に必要となる伐採で面積が3,000㎡を超えるもの	①高さ1.5mを超える木や竹の伐採又は地上1.5mの高さにおける幹の周囲が1mを超える木や竹の伐採

【良好な景観形成を図る上で、次善な影響を及ぼさない一定規模以下の行為については、届出の義務免除となる行為があります。】

**色 彩**

景観に配慮し修理が行われた店舗



景観に配慮し修理が行われた店舗

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
藩校養老館保存修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～29年度

支援事業名 街なみ環境整備事業、集約促進景観・歴史的風致形成推進事業

計画に記載している内容 藩校養老館について、柱等が全体的にシロアリ被害を受けるとともに、屋根瓦の割れなどにより雨漏りが発生しているため危険であり、保存修理を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成27年度においては、街なみ環境整備事業によって保存修理事業にかかる実施設計業務に着手し、平成28年度前期において業務が完成する見込み。  
 工事及び監理業務については、集約促進景観・歴史的風致形成推進事業を活用する予定(H28年度において内示済み)で、工事は秋からを予定している。

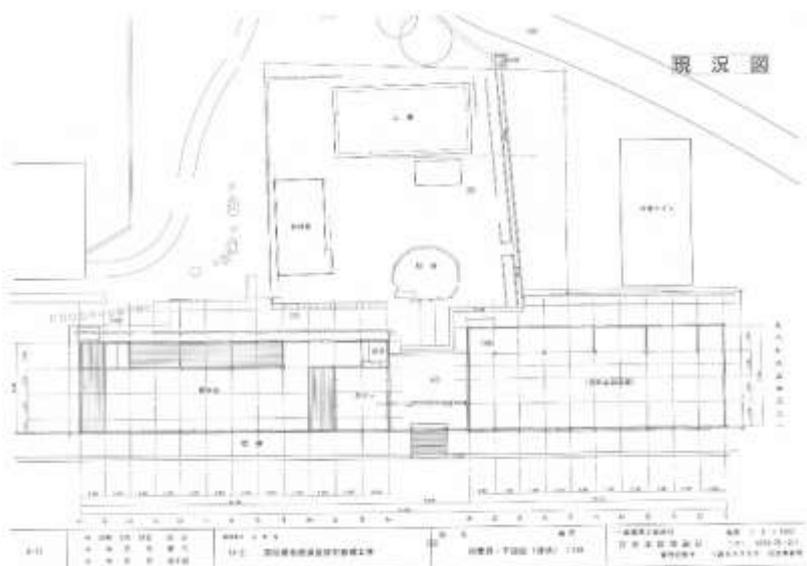
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	当該施設が県指定文化財ということで、建築基準法第3条の適用を受けるため、県の建築審査会の許可が必要(6月に開催予定)。その後に事業着手の予定(9月)
------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------

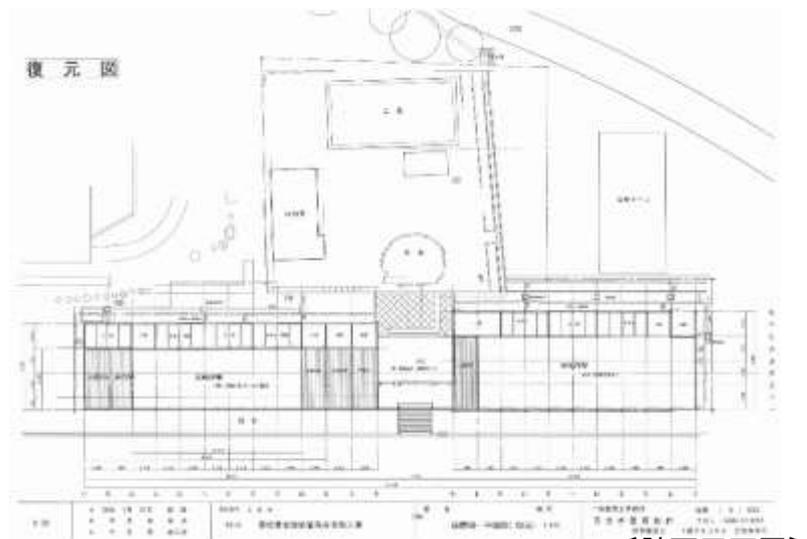
状況を示す写真や資料等

■平成27年度実施(実施設計業務)

[事業年度]  
 平成27～28年度・・・実施設計業務  
 平成28～29年度・・・保存修理工事



[現況平面図]



[計画平面図]



[現況写真]

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
空き家再生事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～29年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(地域住宅計画に基づく事業)

計画に記載している内容 空き家(「空き店舗」を含む。以下同様)の有効活用を促進するため、空き家の再生に関わる修繕を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【平成27年度】後田(新丁通り)地区にある明治時代後期築の主屋について、伝統的工法及び意匠に基づき改修を行い、かつ、「しつらえ」などにもこだわった魅力的な簡易宿舎として活用する。工事は庭園部分を含め平成28年5月に完了予定。平成25～26年度に整備した「戒丁まちやステイ」とともにPRを行うことで、空き家の有効活用を図ることが期待される。

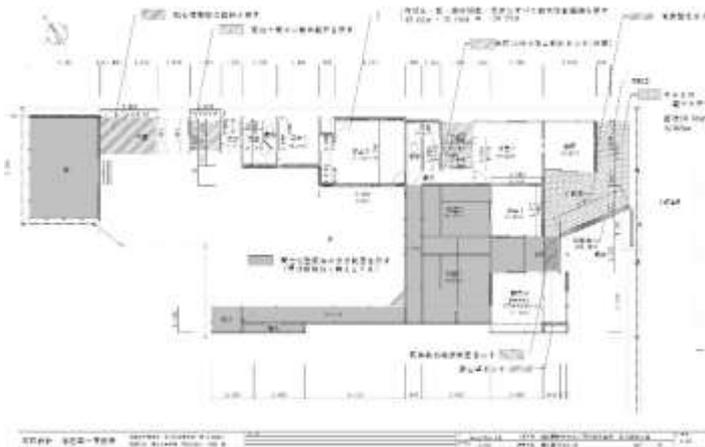
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	完成後、簡易宿舎として、一般のホテルや旅館、民宿などとの差別化を図りながら友好に活用することが重要。
------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------

状況を示す写真や資料等

■平成27年度実施(潮邸)

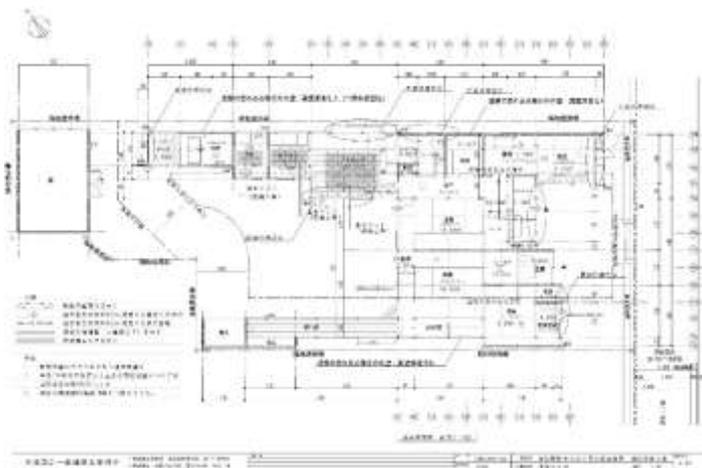
[事業年度]  
平成26年度・・・基本計画及び実施設計



[修理前平面図]



[修理前写真]



[修理後平面図]



[修理後写真]

評価軸③-2  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
水路修景・改良事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～31年度  
 支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容  
 ○殿町通り等の花ショウブのある水路の修景・整備を行う。  
 ○水路の上流部にジェットポンプを設置するなどして、時間的に一定の流れを確保し、良好な水質の確保と鯉の育成環境の向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

後田地区にある殿町通り(約250m)にある水路は、鯉や花菖蒲の咲く明治時代に整備された津和野の主要観光スポットである。降雨時には川からのにごり水が水路に流れ込み、鯉が見えなくなるなどして観光客や旅行者などから苦情がある。今後安定的に良好な水を供給するため、代替水源や対策についての調査を行い、今後の課題についてまとめた。また、この調査の結果については、本計画で実施予定の防災対策事業においても有効に活用するものとする。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

調査結果に基づいた整備方針につき、早期に具体化を検討する必要がある。

状況を示す写真や資料等

[水路修景・防災対策基礎調査結果]



[今後の課題]

水路の流量について、山からの沢水を代替水源にすることは水量の面からも適切ではなく、基本、現状の水路を活かしながら、途中にろ過施設の整備を検討することが望ましいという結果となった。

今後の整備に向けて、施設の設置場所の特定、適切な水量についての実証実験、水質の定期的な調査の必要性などが指摘された。

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
旧城下町等サイン整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 【第Ⅰ期】平成26年度～27年度、【第Ⅱ期】平成30年度～31年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容  
 ○重点区域内(旧城下町、歴史的建造物が集積する区域含む)における案内板、文化財等の説明版、誘導標識、表示板等の整備を行う。  
 ○多言語音声設備等についても検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成26年度に整備した総合案内板から、各主要観光施設等への誘導サイン11基を整備した。  
 (「内訳:総合案内版よりの誘導サイン4基、壁掛けサイン2基、基礎埋設サイン5基)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	これまでに設置されている老朽化したサインや景観上問題のあるサイン(公私問わず)の撤去方法については今後検討を要す。
------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------

状況を示す写真や資料等

[誘導設置箇所]



1. 総合案内板よりの誘導サイン
  - ①津和野町営駐車場入口 ②津和野町役場津和野庁舎裏駐車場入口 ③森鷗外記念館前休憩所 ④津和野温泉なごみの里駐車場
2. 壁掛けサイン
  - A.高岡通り桑原邸 B.本町通り河田邸
3. 基礎埋設サイン
  - C.多胡家表門裏 D.森鷗外旧宅前 E.常盤橋付近遊歩道 F.風呂屋橋滝山家付近 G.山田土木前歩道脇 H.なごみの里付近歩道脇



[1. 総合案内板]



[2. 壁掛けサイン]



[3. 基礎埋設サイン]

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
文化財の保存又は活用に関する事項		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 ①文化財の調査、埋蔵文化財の取扱など

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の調査については、歴史資料をもとに民俗文化財や藩主の暮らし、伝統的な食文化座などについての調査を行った。継続的に調査を実施し、重点地区内のより魅力的なまち歩きや体験などにつなげていくこととしている。埋蔵文化財調査については、重点区域の全域が周知の遺跡となっていることから、道路整備や住宅の立替時などにおいては文化財保護法に基づき遺跡の記録や保存等に関する調査や行政指導を行っている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財の指定については、町内外に居住する地権者の同意が必要となり、現在同意書取得を進めている。埋蔵文化財については、これまで同様に周知の埋蔵文化財包蔵地における開発の把握が必要であり、文化財保護法に基づく調査や行政指導を実施していく。

状況を示す写真や資料等



専門家の聞き取りによる民俗調査



専門家による藩主ゆかりの地の調査



道路整備による埋蔵文化財発掘調査状況  
(津和野藩御殿跡)



住宅建替えによる埋蔵文化財発掘調査状況  
(津和野城下町遺跡)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
文化財の保存又は活用に関する事項		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 ②文化財の復旧(保存修理等)、文化財の防災、文化財と調和した周辺環境・景観の保全・形成

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

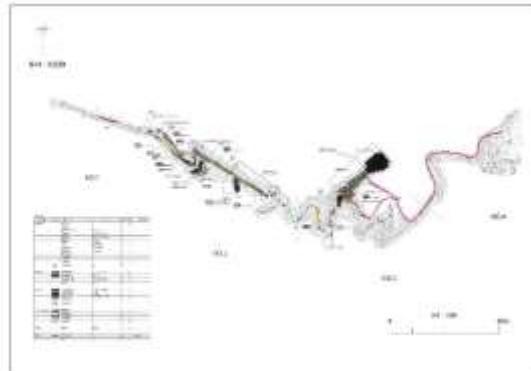
平成25年に発生した水害により被災した津和野城跡の大手道について、災害復旧工事を実施するとともに、埋もれていた石垣などを調査のうえ発掘し、魅力ある道として整備が行われた。計画にあがっている大手門の整備の具体化に向けた協議も関係機関と始まった。さらに、殿町通りにある多胡家表門の番所の保存修理を実施した。また、伝統的建造物群保存地区においては4件の修理事業を実施し、まち並みの環境が整備された。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	県指定文化財である永明寺は老朽化が進行しており、早期に整備が必要である。現在調査を行っており、すでに報告書が作成されている旧藩主亀井家の墓所とともに国指定史跡・名勝として指定する方向で調整を行っている。また、伝統的建造物群保存地区における防災計画については、平成28年から2か年の計画でまとめることとしている。

状況を示す写真や資料等



津和野城跡大手整備完了



津和野城跡大手整備範囲(約600m)



津和野藩家老多胡家表門の保存修理事業(修理前・後)



津和野伝統的建造物群保存地区保存修理(左:新丁通り、右:本町通り)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
文化財の保存又は活用に関する事項		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 ③文化財の保存(活用)を行うための施設の整備

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

伝統的建造物群保存地区内の空き家(旧施設の美術館)を津和野町が譲り受け、津和野町日本遺産センターとして整備し、10月11に開館した。センターでは指定、未指定にかかわらずストーリーの構成文化財を展示パネルや映像、資料などで紹介する。また、津和野今昔館や町内の全小・中・高校に児童、生徒向けの文化財を活用したまち歩きパネルを設置するとともに、全公民館(8館)にも同様のパネルを設置し、今後の学習などに活用するための準備ができた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

日本遺産センターや津和野町郷土館を拠点として文化財をPRするとともに、関連施設とのネットワーク化が重要となる。また、個々の文化財をより魅力的に紹介、活用するための整備やガイドの育成などが緊急の課題となっている。

状況を示す写真や資料等



津和野町日本遺産センター(外観)



津和野町日本遺産センターにおけるガイドクラブへの学習会の様子



津和野今昔館での児童・生徒向け文化財紹介パネル



津和野今昔館(外観)



全小・中・高校、公民館に設置した文化財紹介パネル(右)

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
津和野駅一帯デザインコンペ 資格不問、2/14まで受付	平成27年12月12日	建設工業タイムス

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

都市再生整備事業を活用して整備を計画しているJR津和野駅周辺整備事業について、町単独予算でデザインコンペを実施した(12/4~2/15)。国内外から29のプランが提案され、その中から最優秀1点、優秀賞1点、入選2点、特別賞1点を選んだ。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	最優秀賞をベースとして平成28年度において、駅舎及び周辺工の基本設計を行う。都市計画や建築基準法にかかる問題、所有者であるJRとの協議を段階的に進め、計画的に事業を推進していく必要がある。

状況を示す写真や資料等

(1) 第4,446号 2015年(平成27年)12月12日(土曜日)

**建設興**

津和野駅は4日、津和野駅一帯デザインコンペを告示した。

▼業務名「津和野駅一帯デザインコンペ」

▼趣旨「JR津和野駅や周辺を、津和野の賑わいと交流の場として計画的に再整備する」とを旨としており、さまざまな発想やアイデア、具体的な提案などを参考にすることが重要だと考え、「津和野駅一帯デザインコンペ」を実施する。

▼参加資格「個人または個人のグループ単位あるいは法人等。グループや法人等として応募する場合は、代表者を1人定め、その他者を共同制作者とする(1は不問)。(年齢、国籍、資格)▽提案内容 全体の整備のコンセプト、個々の区域における提案(①JR津和野駅の駅舎1階の再整備・魅力化②JR津和野駅・駅舎の外観の改修・魅力化③SILを生かした広場等の再整備④駅前広場モノメント、駅前広りへのゲート⑤駅前広場側のポケットパークの再整備⑥旧SIL跡地及び現・つむぎ安全センター敷地の再整備・魅力化⑦対象区域・まちの全体的な周遊性の強化。町民らの参加・連携などによる具体化の方策。アイデア」

詳細は応募要領参照

tsuwano.jp

tsuwano@tsuwano.jp

2) 1650 電子メール kankou@tsuwano.jp

▽提案書受付 16年2月15日まで、持参または郵送

▽質問等受付 12月18日までに質問票を本コンペ事務局(商工観光課)に電子メールまたはFAX、郵送等で送付。質問に対する回答はウェブサイト上で16年1月中旬頃に公開

▽審査方法・公表町歴史的風致維持向上協議会での審査の上、16年3月中旬頃に町HPなどで公表

▽賞と賞金 最優秀賞(1点) 20万円、優秀賞(1点) 10万円、入選(数点) 5万円、特別賞(数点) 5万円

※提出・問い合わせは 津和野町商工観光課(本コンペ事務局) 電話0856(72)0652 FAX(72)2) 1650 電子メール kankou@tsuwano.jp

**資格不問、2/15まで受付**

津和野駅一帯デザインコンペ

津和野駅周辺の風景写真

島根県からのお知らせ

平成27・28年度入札参加資格

**工事・業務追加申請**

1/25まで受け付け

■受付する資格  
建設工事および測量・建設コンサルタント業務等

※定期申請及び今までの追加申請において、希望工事(業務)・希望工事(業務)、委任先の営業所の申請漏れがありましたら、今回の追加申請にて対応しますので、今一度申請内容をご確認ください。

■受付対象  
①平成27年4月1日時点の島根県建設工事等入札参加資格名簿に記載されており、希望工事・希望業務種別を追加したい方の平成27年4月1日時点の島根県建設工事等入札参加資格名簿

**維持修繕増大で**

**県議会一問一答**

答「このうち、維持修繕費は8年度に管理する道路橋の場45億円だったが、14年度に建設後50年が経たぬうちに1億7千万円増える。この割合は20年度に60%に増える。他の施設も同様で、維持費用の増大が懸念される。この資本整備総合交付金の活用が可能となれば、今後10年間の長寿命化対策に、施設長寿命化計画をする費用が増え、本年度に策定する」

JR津和野駅周辺のデザインコンペの実施を知らせる記事(建設工業タイムス)

評価軸⑥-1  
その他

	評価対象年度	平成27年度
--	--------	--------

項目

歴史的風致維持向上施設の整備又は管理に関する事業

計画に記載している内容	<p>○空き家再生事業 本事業によって、空き家の有効活用が図られ、良好な景観の保全・形成につながるとともに、人口流出の抑制や若い世代の利用による地域の活性化も期待され、歴史的風致の維持及び向上に寄与する。</p> <p>○旧城下町等サイン整備事業 本事業によって、観光客への案内・説明機能が強化され、回遊性が高まるとともに、住民はもとより訪れた人々に対し、古くからの地名・町名を伝えることになり、意識・知識面などから歴史的風致の維持及び向上に寄与する。</p>
-------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

空き家再生事業については、年間56組、計163人の利用(宿泊)があった。また、空き家再生整備について町民の理解を促進するため、施設を公開するとともに歴史講座、能鑑賞会、邦楽演奏など公開を2日間にわたって行い、およそ50人の利用があった。

また、平成27年の島根県観光動態調査によると入込客の延べ数は前年比4.8%の増と、宿泊者数も8.6%の増となった。特に外国人の宿泊者数は56.0%と大幅な増となっている。

NO 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	平成27年度において、津和野町の提案した「津和野今昔～百景図を歩く」が文化庁の日本遺産に認定され、PRなどの効果もあって観光客も増えてきている。歴史的風致維持向上施設の整備などを計画的に実施し、観光客の増加、定住促進につなげていきたい考えである。
---------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

状況を示す写真や資料等



殿町通りを散策する観光客も例年に比べ増加した。また、外国人観光客も増加傾向にある。



津和野町日本遺産センターの来場者は、10月の開館後、半年で1万人を超えた。



空き家再生整備による施設について、町民理解の促進を促すために、施設の公開を行ったり、伝統文化の鑑賞や体験などの事業も開催している。



毎年3月～11月に運行される山口線のSLの乗客数も増加した。

評価対象年度	平成27年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 歴史的風致維持向上協議会	
<p>会議等の開催日時:                  歴史的風致維持向上協議会:                  (第1回)平成27年5月26日実施                  (第2回)平成28年3月2日実施                  (第3回)平成28年5月18日実施</p>	
<p>(コメントの概要)</p> <p>■歴史的風致維持向上協議会</p> <p>(第1回)平成27年5月26日実施                  協議会議題                  (1)事業の現地確認及び評価、事業シートの確認                  (2)平成27年度事業内容の検討</p> <p>&lt;意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水路の整備にあたっては景観計画との調整が必要。</li> <li>・H25年7月の水害により水質が悪くなっていないか。</li> <li>・案内板については、英語表記も必要ではないか。</li> <li>・藩校養老館の活用については十分町民の意見を反映して欲しい。</li> </ul> <p>(第2回)平成28年3月2日実施                  協議会議題                  (1)JR津和野駅周辺整備のデザインコンペの審査                  (2)平成27年度の事業の進捗について</p> <p>&lt;意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デザインコンペの最優秀賞を基本に設計を進めて欲しい。</li> <li>・技術的な課題もあるので、検討が必要な箇所もある。</li> <li>・他の受賞作品の中にも部分的に優れたものもあった。</li> </ul> <p>(第3回)平成28年5月18日実施                  協議会議題                  (1)事業の現地確認及び評価、事業シートの確認                  (2)平成28年度事業内容の検討</p> <p>&lt;意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おおむね計画通りに進んでいる。</li> <li>・国道9号線の廃屋については早期に着手してはどうか。</li> <li>・空き家が今後増えていくのでその対策も検討する必要がある。</li> <li>・用水路への水の確保のための整備は喫緊の課題である。</li> </ul>	
<p>(今後の対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体計画とのすりあわせを行いながら事業を計画的に進めていく。</li> <li>・国土交通省(観光庁含む)や農水省の補助事業などをうまく組み合わせて事業効果を高めていく必要がある。</li> <li>・用水路については、H28年度において工事の実施設計を行い、H29年度から工事に着手する予定である。</li> </ul>	





- <5/18歴史的風致維持向上協議会>
- ・平成27年度事業報告及び評価
  - ・事業シートの作成

